

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月10日

上場会社名 株式会社プラコー 上場取引所 東
 コード番号 6347 URL <http://www.placo.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 権田 和睦
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 黒澤 秀男 (TEL) 048-798-0222
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,741	△2.8	11	—	△7	—	△9	—
25年3月期第3四半期	1,791	19.2	△83	—	△93	—	△109	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年3月期第3四半期	△0.35		—					
25年3月期第3四半期	△4.03		—					

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	2,585	—	220	—	—	8.5
25年3月期	2,052	—	231	—	—	11.3

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 220百万円 25年3月期 231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,922	△1.0	139	235.6	115	339.0	102	387.3	3.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

※詳細については、添付資料3ページ2の(1)「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	27,152,585株	25年3月期	27,152,585株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	47,690株	25年3月期	46,197株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	27,105,540株	25年3月期3Q	27,106,863株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
5. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府が実施した大胆な金融政策や機動的な財政出動に続く新たな成長戦略などの経済政策により、円高が是正され株価が大幅に上昇するなど、国内に景況感の改善が見られ、緩やかに回復しつつあります。しかしながら、楽観を許さない欧州や新興国の景気動向及び消費税増税後の景気減速懸念などで、先行きは不透明な状況となっております。また、設備投資についても緩やかに向上しつつありますが、先行きへの不安からその動向は限定的となっております、まだ力強さに欠ける状況となっております。

当社の関係するプラスチック加工業界は、より付加価値の高い製品をさまざまな産業分野に提供することにより、持続可能な社会の実現に向け、貢献していくことが求められます。業界全体としては、自動車関連を中心とした景気回復がみられたことと、景気浮揚策としての経済産業省の補助金制度を活用した設備投資が促進されたものの、円安の影響によるプラスチック原料価格や鋼材価格の上昇、さらに電気代などの値上がり分を100%製品価格へ転嫁することが出来ず、「原料高・製品安」で推移したこともあり、設備投資意欲を押下げる要因となっております。海外市場においては、新興国の経済成長に伴って需要の増加は期待できるものの、国内外の機械メーカーによる性能競争や価格競争が厳しさを増しています。

また、環境関連業界においては、超大型破砕機を受注するなど破砕機の入れ替え需要や、改修工事の需要はあるものの、全体としては低迷しており、復興需要に期待していますが、具体的な受注へ結びつくまでに時間が掛かっています。

このような状況下、営業面では大型インフレーション成形機、高効率押出機、「樹脂タンク用小型ブロー成形機」バージョンⅡ、新型省エネブロー成形機など、受注が順調に推移しました。また、生産面では、引き続き海外生産を増加させることによりコスト低減の推進、生産性の向上に努めましたが、円安による為替差損や海外生産に係る人件費の増加により、利益率が改善はしているものの、目標には至りませんでした。

以上の結果、当第3四半期累計期間での売上高は予定より若干減少しましたので17億4千1百万円となり、前年同四半期と比べ4千9百万円減少(前年同四半期比2.8%減)いたしました。利益面につきましては、当第3四半期会計期間において目標の利益率を確保することができませんでした。この結果、営業利益1千1百万円(前年同四半期営業損失8千3百万円)、経常損失7百万円(前年同四半期は経常損失9千3百万円)四半期純損失9百万円(前年同四半期は四半期純損失1億9百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前事業年度末に比べて40.0%増加し、1,904百万円となりました。これは主に、現金及び預金が239百万円、棚卸資産が378百万円、前渡金が62百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が156百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて1.6%減少し、680百万円となりました。これは主に、有形固定資産が減価償却などにより5百万円、投資有価証券が株式売却などにより4百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて26.0%増加し、2,585百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて38.9%増加し、1,550百万円となりました。これは主に、前受金が492百万円増加し、支払手形及び買掛金が31百万円、未払消費税が18百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて15.7%増加し、813百万円となりました。これは主に、長期借入金が112百万円増加し、退職給付引当金が4百万円減少したことなどによります。

この結果、負債は前事業年度末に比べて29.9%増加し、2,364百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べて4.7%減少し、220百万円となりました。これは主に、第3四半期純損失を9百万円計上し、有価証券評価差額金が1百万円減少したことなどによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、平成25年11月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、今後の経営環境により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(原価差異の繰延処理)

操業度等の変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)として繰延べております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	514,665	754,028
受取手形及び売掛金	668,144	512,034
製品	81,175	192,073
仕掛品	49,172	319,032
原材料及び貯蔵品	24,088	21,605
その他	25,294	106,660
貸倒引当金	△2,223	△514
流動資産合計	1,360,317	1,904,920
固定資産		
有形固定資産		
土地	501,000	501,000
その他(純額)	126,509	121,243
有形固定資産合計	627,509	622,243
無形固定資産		
	11,960	11,801
投資その他の資産		
その他	69,926	60,393
貸倒引当金	△17,680	△13,746
投資その他の資産合計	52,245	46,647
固定資産合計	691,715	680,692
資産合計	2,052,032	2,585,612
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	671,996	640,606
短期借入金	303,552	300,728
前受金	50,037	542,421
未払法人税等	7,722	5,419
引当金	15,079	14,814
その他	68,252	46,823
流動負債合計	1,116,640	1,550,813
固定負債		
長期借入金	597,111	709,838
退職給付引当金	26,233	21,944
繰延税金負債	75,077	75,077
その他	5,185	7,077
固定負債合計	703,607	813,937
負債合計	1,820,247	2,364,751

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,332,945	1,332,945
資本剰余金	131,387	131,387
利益剰余金	△1,359,457	△1,368,818
自己株式	△5,196	△5,246
株主資本合計	99,679	90,267
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,021	△6,532
土地再評価差額金	137,125	137,125
評価・換算差額等合計	132,104	130,593
純資産合計	231,784	220,860
負債純資産合計	2,052,032	2,585,612

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	1,791,263	1,741,545
売上原価	1,494,026	1,331,183
売上総利益	297,237	410,362
販売費及び一般管理費	381,072	399,098
営業利益又は営業損失(△)	△83,835	11,263
営業外収益		
受取利息	1,117	1,373
物品売却益	623	504
保険解約返戻金	4,267	—
その他	6,099	2,051
営業外収益合計	12,106	3,929
営業外費用		
支払利息	15,695	16,066
手形売却損	2,290	1,098
為替差損	1,553	5,244
その他	2,646	—
営業外費用合計	22,185	22,409
経常損失(△)	△93,914	△7,216
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,300
特別利益合計	—	2,300
特別損失		
投資有価証券評価損	10,920	—
固定資産除却損	—	159
特別損失合計	10,920	159
税引前四半期純損失(△)	△104,834	△5,076
法人税、住民税及び事業税	4,300	4,285
法人税等合計	4,300	4,285
四半期純損失(△)	△109,135	△9,361

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はプラスチック成形機事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

補足情報

生産、受注及び販売の状況

1 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	900,419	△20.3
ブロー成形機事業	586,194	45.5
リサイクル装置事業	89,550	29.8
合 計	1,576,163	△1.6

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 受注実績

当第3四半期累計期間における受注実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	1,437,043	30.4	909,696	38.3
ブロー成形機事業	1,224,419	145.9	890,373	141.3
リサイクル装置事業	59,112	△56.1	79,750	△13.4
合 計	2,720,574	56.8	1,879,819	68.1

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	836,272	△18.9
ブロー成形機事業	502,019	24.4
リサイクル装置事業	114,862	80.6
メンテナンス事業	288,392	△1.7
合 計	1,741,545	△2.8

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。